

相互提案型協働事業実施報告書

(宛先) 座間市長



平成25年4月30日
 座間市相模が丘3-6-11
 団体住所
 名称 特定非営利活動法人 さくら百華の道
 代表者氏名 坂本文彦
 市担当課 公園緑政課
 所属長 北川秀幸



次のとおり報告します。

1 事業名	相模が丘仲よし小道再生事業
2 事業形態	<input type="checkbox"/> 市民活動団体提案協働事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市提案協働事業
3 選考年度	23年度選考 (24年度実施)
4 報告期間	平成24年4月1日 から平成25年3月31日 まで
5 事業費	2,862,313円(内座間市支出分2,700,000円)
6 事業概要 (事業内容等を450字以内で御記入ください。) ※詳細な報告は、別紙事業評価シートに御記入ください。	<p>「仲よし小道（さくら百華の道）」の再生工事は第4次座間市総合計画の戦略プロジェクトに位置づけられ、その第1次工区の工事を平成24年3月31日に完成させた。第1次工区は1600mの緑道の内360mに当たる。その完成した緑道を提出した計画に基づいて次の維持管理していくこと。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 緑道に植栽された植物を健全に育成していく 2. 緑道のあるべき環境を整備していく 3. 市民の奉仕活動として育てそれを円滑に効率的にマネジメントする
7 添付資料	<input checked="" type="checkbox"/> 収支決算書 <input checked="" type="checkbox"/> 事業詳細報告書 <input checked="" type="checkbox"/> 事業記録写真 <input checked="" type="checkbox"/> チラシなどの広報資料 <input type="checkbox"/> 作成した冊子などの資料 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (記録写真はCDで添付します。)

相互提案型協働事業評価シート

事業名	相模が丘仲よし小道再生事業
-----	---------------

1 協働事業の成果

協働事業により設定した事業目的が達成できたか、市民ニーズに効率的、効果的に対応できたかなど、事業の成果について評価します。

項目	【団体の自己評価】	【市の自己評価】
事業の達成度	所期の目的は、十分達成できましたか。	
	<p>幼木の育成に対する対策は十分である。</p> <p>緑道を常に美しく管理していくことも充分である。</p> <p>地域住民の協力も序々に得られている。</p> <p>マネジメントについては手探り状態である。</p>	<p>緑道の維持管理の面では概ね達成できていると考える。</p> <p>市民協働による維持管理はスタートしたばかりであり、これからが重要。</p>
事業成果・効果	事業を実施したことによる成果・効果について、具体的に記入してください。	
	<p>① 第1次工区には早咲き系の桜が集中的に植えられている。植栽されて1年目であるが期待をこえる花をつけた。その他の花木も同様である。</p> <p>② 緑道利用者の増大と、利用者の評価において顕著な変化がみられること。</p> <p>③ 苦情の減少、隣接住民の協力など従来の課題を払拭しつつあること。</p> <p>④ 地域住民の意識、特に関心の度合いが高まったこと。</p>	<p>相模が丘仲よし小道が見違えるようになり、相模が丘仲よし小道再生整備事業に関する地域の意識が高まった。</p>

2 協働事業における取組

事業プロセスにおいて、計画段階から完了まで良好なパートナーシップが発揮されたかについて評価します。

項目	【団体の自己評価】	【市の自己評価】
目的・目標の共有	十分な協議や調整により、事業目的や課題に対する共通の認識を持つことができましたか。	
	<p>緑道の景観形成や園路としての環境整備については市と共に適切に処置できた。</p>	<p>必要に応じ調整や協議を行い、緑道の市民協働による維持管理はスタートしたばかりであるが、事業目的や課題に対する共通認識を概ねもつことができている。今後も更なる努力が必要。</p>

事業の進行管理	進捗状況について情報交換を行うとともに、必要に応じてスケジュール等の見直しを行うことができましたか。	
	ほぼ出来ている。	概ね必要に応じお互いの情報交換を行うことができ、樹木や草花への灌水計画や清掃、草刈計画などの予定を確認しながら緑道の維持管理を行うことができた。
対 等 な 関 係	協働の相手として、対等な立場で協議することができましたか。	
	お互いの立場を尊重し、円滑に協議が行われていると思う。	概ね対等な立場で協議することができた。今後もより対等な立場で協働事業を行うことが必要。
相 互 理 解	相手の立場や組織の特性の違いなどを理解し、互いに補える関係が築けましたか。	
	お互いの責任範囲や組織の特性を理解して、コミュニケーションが成立することが理想である。現役は多忙、老人は我儘。抑制された秩序を旨としなければならない。	相互理解に努め、特性の違いを理解するよう努め協働事業を行うことができた。今後も対等な立場として、お互いに補える関係のさらなる構築が必要。

3 協働事業における役割分担

役割分担は適正であったか、役割を果たすことができたか、相乗効果を発揮することができたかなどについて評価します。

役割分担の内容	役割分担の内容を具体的に記入してください。	
	<p>(団体の役割)</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 植栽の育成 剪定及び整姿、施肥、灌水など ② 緑道としての環境整備 維持・管理に従事する奉仕者の編成 ④ 諸作業の効率的な実務管理 ⑤ 緑道利用者及び地域住民に対する 広報啓発活動 ⑥ 協働マネジメント 	<p>(市の役割)</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 植栽の育成保全に係る分担業務 (高所作業、病虫害駆除) ② 園路、園路灯、雨水排水施設、表示看板等緑道施設の維持管理 ③ その他地域では出来ないこと

項目	【団体の自己評価】	【市の自己評価】
適正さ	役割分担は適正なものでしたか。	
	ほぼ出来ている。	地域の緑は地域で守ることを考えた協働事業であり、お互いの役割は適切であると考えている。
実施結果	設定した役割分担を果すことができましたか。	
	十分に遂行できた。 維持管理に従事した奉仕者は年間述べ人数900名を超える。 緑道利用者から感謝の言葉を頻繁にかけられるなど、コミュニケーションが増大、緑道を中心に大いに交流が拡大している。	協働管理を行うなかで、相互調整を図りながら、充分果たすことができた。
協働による効果	それぞれが単独で実施する以上の成果を上げることができましたか。	
	数値で置き換えることができない効果をあげていると自画自賛している。 波及効果・・・協働、地域のことは地域で、地域の自信。 行政への信頼・・・決断は確かであることへの確信	沿道に隣接する方々をはじめとする地域の方々並びに緑道利用者の相模が丘仲よし小道再生整備事業に対する関心と、協働事業に関する関心が高くなり、地域の緑道として見違えるほど綺麗になった。

4 今後の具体的な展開

事業の波及効果	今後、実施事業をどのような形で展開していくことが望ましいと思いますか。	
	<p>(団体の考え)</p> <p>緑道の景観を作り上げていく、それは生き物である桜樹とその他の花木と向き合って対話して行く事にほかならない。その苦労を苦労としない、むしろ喜びとする価値観を地域住民が持ち支え続けることが理想である。 全ての施策はその実現を目標に行われなければならない。</p>	<p>(市の考え)</p> <p>より一層市民協働を進め、対等の立場で地域住民等への公共サービスができるように進展させていくことが望ましいと考えます。</p>